

学力向上	豊かな 人間性の育成	健やかな 身体の育成
不登校児童 生徒支援	インクルーシブ 教育	食育の推進
学校・家庭・ 地域連携	その他	

八幡市

事業名

多様な学びの場（スペシャルサポートルーム）充実事業

事業の経過・背景・課題

本市では、中学校の不登校の出現率が、全国平均と比較して高くなっています。教育支援センターにおける支援対象者も増加傾向にある。小学校でも同様の傾向があり、教育支援センターと連携しながら支援を行うケースも増加している。

特に、不登校生徒が多い中学校には不登校支援を担当する教職員を配置し、別室での支援を行うことで生徒の居場所づくりに努めているが、様々な要因に十分対応できない現状もある。小学校でも教室以外の居場所の確保、担任以外の対応者において各校対応に苦慮している状況があり、対応者確保の必要性を感じている。

取組内容

交付実績額： 9,319 千円

- 市内すべての中学校にスペシャルサポートルームを設置し、常に非常勤講師や支援員がいる状況を作り、対象生徒が少しでも学校に行こうと思えるような環境を作る。
- 学びの保障、居場所確保のために、非常勤講師、スペシャルサポートルーム支援員を配置
- スペシャルサポートルームへの授業配信の実施
- SC,SSWとの連携、支援センターとの連携により充実した指導、支援を行う

事業の成果・今後の展望等

- 学校には行けるものの、教室には入りづらい生徒の居場所をどの学校にも確保することができた。
- スペシャルサポートルームは、安心できる環境を提供するとともに、支援員による学習支援を行うことで保護者、生徒のニーズに応えることができた。
- これまで担任や学年所属の教員の献身的な努力で別室を運営していた学校も、専任の非常勤講師や支援員が常駐することで、授業準備や生徒指導などの業務に注力することができた。
- 教室運営を中心としながらも、教室に入りづらい児童の一時的なサポートや、登校を促すアウトリーチを行い、担任との連携を大切にした不登校支援を行っていく。
- 小学校での不登校の状況を鑑みて、事業の小学校への拡充を検討していく。

問い合わせ先

八幡市教育委員会学校教育課 (075-983-1127)